

北高同窓会だより

KITA HIGH SCHOOL OB. OG. NEWS

発行 名古屋市立北高等学校
同窓会編集委員
発行日 2026年3月2日
編集責任者 会長 山本裕康(4回生)
同窓会事務局(北高校内)担当 仲田 修(19回生)
TEL 052-901-0338

Vol. 38 ※この同窓会だよりは、北高等学校同窓会編集係が、名古屋市立北高等学校並びに卒業生のご協力を得て編集発行しています。

新しいスタートを祈念する

同窓会会長 山本裕康(4回生)

北高校同窓会々員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のことと思います。

昨今の気候は「春」「秋」が短く、夏には異常とも思える猛暑が延々と続いたかと思う一方、地域によっては冬の積雪に悩まされています。また、各地では大規模火災により甚大な被害が多発し、家を無くされた方々にはお見舞い申し上げます。地震からの復興も進まない中で、自然の驚異を改めて感じています。

政治面では、一昨年の衆議院選挙、昨年の参議院選挙で自民党が過半数割れの事態となり、微妙な舵取りの中、日本初の女性首相が誕生しました。手腕を期待されるところですが、今この原稿を衆議院の解散総選挙中に書いています。内外とも難題山積みの中で、どのような結果になるのか興味深いところです。

このような中で、明るい話題としては大阪万博が開催され2,557万人の入場者があり大盛況であったこと、大リーグでの大谷翔平・山本由伸両選手のワールドシリーズでの大活躍や相撲の安青錦関の連続優勝でしょうか？また今年は冬季オリンピックや10月に愛知県で開催されるアジア・アジアパラ競技大会など、スポーツの魅力に負うところが大きいですね。

さて、今年卒業された皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの同窓会への入会を歓迎いたします。保護者様をはじめご家族、恩師、先輩や同僚、後輩など、あなた方を育み導いて下さった方々への感謝の気持ちをいつまでも忘れないようにして下さい。皆さんは61回生になります。高校

生活は如何でしたか？皆さんの目的に近づけましたか？今日からは、新たな夢に向け一步一步確実に歩んでください。「今日からスタート」です。

今年は8月29日(土)に「若者のつどい」を開催します。例年と同じ吹上の展望ホールで行います。各クラスの幹事さんを通じて「ライン」にて案内しますので、参加していただくようお願いします。いつもながら個人情報保護の観点から近年住所管理が出来ていません。従いまして、今年も例年通り61回生だけで実施したいと思います。先輩諸氏には大変申し訳ありませんが、お許しいただきたくお願い申し上げます。良い方法があればご教示くださると幸いです。

今年の干支は「丙午」です。「情熱と行動力で前に突き進み、道を切り開く」といった意味があるそうです。コロナ下を経て活動も復活してきました。明るい未来へ歩み始める年にしたいと思います。同窓会活動にも変化が求められていると思いますので、役員の改選も含めご意見など頂戴できれば幸いです。今後とも、同窓会へのご理解・ご協力・積極的なご参加をお願いするとともに、同窓会会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

〔AIを活用してこの文章作成をと思いましたが、何か機械に操られそうな気がして身震いました。(私の独り言です)〕

令和7年度 卒業生対象の行事 (令和8年同窓会若者のつどい)

- ・令和8年8月29日(土)開催予定です。
- ・5 or 6月にクラス同窓会委員会を招集します。
- ・卒業生にはline等で連絡します。

ご挨拶

校長 鈴木 彰 芳

本年度より北高校へ赴任しました鈴木と申します。昨年度までの舩越先輩に続いて、北高校出身の校長ということになります。私は第23回生なので卒業は38年も前のことなのですが、赴任してまず驚いたのが当時とほとんど変わらない校舎の姿でした。学校周辺の様子は様変わりしているし、制服も新しくなって生徒の雰囲気も変わっているのですが、校舎だけは変わらず建ち続けています。もちろん相応に古さやボロさは目につきますが、それでも変わらず建ち続けるその姿には潔さを感じるくらいです。因みに、今の北高生の雰囲気は、素直で優しい生徒ばかりです（昔と違って…?）。そんな後輩たちのためにも同窓会としてお力添えいただければ幸いです。

さて、ご存じの方も多いとは思いますが、今年は学校のある楠地区が名古屋市と合併して70周年になります。その記念事業では、少しでも地域の皆様に喜んでいただきたく、北高生は様々な場で活躍させていただきました。美術部は市バス1台をまるごとペイントしたり、楠支所のマンホールふたをデザインしたりしました。市バスは令和9年2月ごろまで北区を走っているので、ぜひご覧ください。また、11月の楠フェスタでは音楽部の合唱や放送部の地域取材したVTR発表、防災チームのプレゼンテーションなどを通して地域の方々と一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。30人を超える生徒もボランティアとしてフェスタを盛り上げてくれました。

これからも地域と学校がともに成長し続けられる関係を築きながら、地域に愛される学校づくりに努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

地域に愛される北高校に

教頭 野 中 宏

11月の初旬に、楠小学校の2年生24人が北高校を見学に訪れました。児童たちは担任の先生に付き添われながら、遠足よろしく遥々歩いてやって来ました。こちらは、大講義室で児童たちの質問に答える「質問タイム」と、児童たちを案内して学校の施設を見て回る「学校探検」の二本立てのプログラムで対応しました。「生徒は何人いるんですか?」「先生は何人いるんですか?」素朴な質問をたくさんして、高等学校の規模の大きさに目を丸くして、高校生に声をかけられて少し緊張して、児童たちは帰って行きました。

先日、探検に来た児童たちから感想文とお礼の手紙が届きました。「体いくかんが2つあるのにびっくりしました。」「自てん車が、だいたい650くらい。むきがぜんぶそろっている。」「きた高校の1かいは、びじゅつかんになっています。」といった感想とともに「わたしは、きたこうこうってすごく、りっぱなんだな〜といちばんさいしょに思いました。こうこうせいになったら、きたこうこうに通います。」「大きくなったら、北高校にかよいたいです。」「今ど北高校に行きたいです。」といったメッセージが書き込まれた手紙をいくつもいただきました。8年後、是非北高生になってほしいと思うと同時に、北高校はこういった地域との繋がりにも支えられていると感じました。

今年も、味鋤イモの栽培・収穫や防災に関する体験や発表、アートバスのペイントといった活動がいずれも北高生と地域の方々との連携プロジェクトとして行われました。楠フェスタなどの地域イベントにも数多く参加し、地域の方の清掃活動のお手伝いにも参加しました。勉学や部活動はもちろんですが、地域と繋がる取り組みの中で生徒は多くの生きた学びを得るでしょう。そしてこういった取り組みを幅広く発信して、名古屋市北区の公立高、北高校のニーズを更に広げたいと考えます。

3年間でふりかえって



第61回卒業生 余郷 薫子

同窓会の文章を書くにあたり、北高での3年間で改めて振り返る機会となりました。入学当初はこれからの高校生活について不安でいっぱいでした。ですが、元気で明るい北高生のみんなと出会い、そんな不安がいつしかなくなり充実した高校生活を送ることができました。

毎日の高校生活の中で印象に残っている場面がいくつもあります。文化祭や体育祭では、準備や練習しているうちに友達との絆がどんどん深まっていくのを感じました。また、スピーチコンテストでは友達と意見が食い違い、ぶつかり合う時もありましたが最後には協力し合い、支え合うことで乗り越えました。沢山の行事や活動がある中で私が最も心に残っているのは、放課やお昼にした友達との何気ない会話です。忙しい中でつい当たり前

に感じてしまいがちですが、振り返ってみると友達との何気ない会話が3年間で明るく灯してくれたと思います。そのため、卒業が近づくにつれ、北高で過ごす時間が限られていることを実感し、寂しさを感じるようになりました。毎日顔を合わせていた友達と同じ教室で笑ったり悩んだりする時間が、もう当たり前ではないと思うと、不思議な気持ちです。別々の道に進むことへの不安はありますが、それ以上に北高で出会えた友達や先生方と過ごした時間を誇りに思い、残りの学校生活を大切にしていきたいです。

私たちは北高を卒業し新たな道に進みますが、その先には何も楽しいことや期待だけではなく、思い通りにいかないことや困難に直面することもあると思います。慣れない環境で壁にぶつかることもきっとありますが、その時は高校生活での思い出や経験を振り返ってみてください。3年間で得た経験や思い出は、困難を打開するための鍵であり、一生の財産となるでしょう。

その力を誰かのために活かそう



第30回生・自営業 幸村 泰典

北高卒業、おめでとうございます。

北高での三年間仲間とともに学び遊び、時にはともに悩み葛藤し、自分自身と向き合ってこられたと思います。これから皆さんは、新しい学びの場や社会へと一步を踏み出していきます。そこはこれまで以上に広く自由で、時には厳しい場所になります。目の前にいくつもの壁が現れると思います。しかし、北高で切磋琢磨し土台を作り上げた皆さんであれば、必ずその壁を乗り越えていけるはずです。もし一人では乗り越えられないような大きな壁にぶつかったときは、決して一人で抱え込まないでください。隣にいる仲間や北高の絆で結ばれた仲間とともに乗り越えていってください。また、困っている仲間を見つけたら、迷わず手を差し伸べて一緒に進ん

であげてください。人は自分のためでなく、誰かのためにこそ、本当の力を発揮できるものだとは信じています。自分のためだけではなく、誰かのためにその力を使える優しい人になってください。

北高同窓会では、毎年夏に開催される「若者のつどい」をサポートしています。幅広い年代の卒業生が集まり、クラス同窓会委員の皆様とともに準備や会場設営を行っています。年に数回の集まりで、負担にならない活動をしています。先生や社会の第一線で活躍されている先輩も多く、進路のこと仕事のこと人生のこと、ふとした時に相談できる環境があります。興味がありましたら、是非とも一緒に活動していきましょう。「若者のつどい」の際に、気軽に同窓会メンバーに声をかけてください。

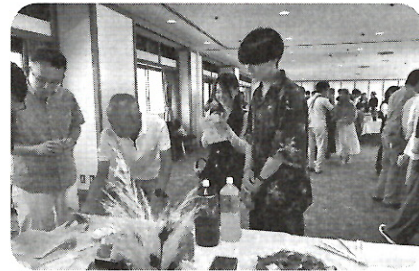
最後になりましたが、皆さんの選んだ道が豊かな経験と喜びに満ち溢れ、輝く未来が訪れることを祈念しています。

ぜひとも同窓会活動にご参加ください

- 一 5年に一度の「総会・行事」の開催の見直し
北高卒業生を対象として、5年毎に開催してきましたが、約10年毎に変更します。50周年記念総会・行事は平成24年(2012年)11月に開催しました。
- 二 毎年夏に「若者の集い」の開催
新入同窓会会員を中心にして、記念総会実施年を除き、毎年開催しております。
新同窓生の実行委員が中心となった気軽に参加できる集いです。
- 三 同窓会名簿の作成と住所管理
全同窓生の住所・電話番号を調査し、住所変更についても、定期的な調査をし、コンピューターで管理し正確性の維持に努めています。編集は業者(株サルト)に依頼しています。
- 四 「北高同窓会だより」の発行
年1回の定期発行。内容は会長あいさつ、活動報告、卒業生からの寄稿、現在の北高の話題などです。

〈第60回卒業生若者のつどい〉

令和7年8月16日開催



初めてクラスラインで出欠を確認、約100名の新卒業生と6名の担任の先生が参加されました。実行委員の努力と参加者の協力でも楽しい集いでした。

写真で北高点描

高校3年間でいろいろな活動を通して、生徒たちは成長していきます。先輩諸氏もこれらの写真で北高を懐かしみ、同窓会活動に多くの方が参加されることを期待します。



地域交流

11月楠フェスタで音楽部は消防音楽隊と合同演奏しました。他に放送部が楠地区についての動画を発表し、有志が防災ボランティア体験を報告しました。

名古屋市立北高等学校 イベント企画チーム「KITASTEP」 伝統野菜「味鋤いもプロジェクト」活動報告

本校イベント企画チーム「KITASTEP」が取り組む、地元伝統野菜「味鋤いも」の普及活動は、JA なごや楠支店運営委員会より苗や畑の提供、栽培に関するご支援をいただき、今年で本格始動から2年目を迎えました。

活動の原点は3年前にさかのぼります。食と都市の持続可能性をテーマとした講座に参加した生徒たちが名古屋の特産品を調べる中で、戦前から栽培されてきた「味鋤いも」に出会いました。調査を進めるうちに、生産農家の減少など、地域の伝統野菜が抱える課題を知り、これを守りたいという思いが芽生えたことが、プロジェクト誕生のきっかけでした。

その後、ユネスコ委員およびイベント企画チームの生徒たちは、味鋤いも生産者の畑で植え付けから収穫までの一連の作業に携わり、収穫後は知名度向上を目指して、近隣の和菓子店「秀清堂」の協力のもと商品開発に挑戦しました。完成した商品は、JA なごや楠支店の JA フェアで販売し、地域の皆さまに味鋤いもの魅力を伝える取り組みを続けています。

2年目となる今年は、「KITASTEP」25名の生徒が苗の植え付けと収穫を担当し、収穫量は昨年の18kgから大きく増え、92kgの大豊作となりました。また、主要メンバー8名が和菓子の商品開発を行い、旧楠村の名古屋市合併70周年を記念して、楠地区のマスコットキャラクター「くすのっち(味鋤いも犬)」の肉球をモチーフにした「くすの子大福」を考案しました。JA フェアでは300パック(2個入り)が完売し、売上の一部はあいち子ども食堂ネットワークへ寄付しました。

生徒たちは、「地域に愛される商品づくりを続け、味鋤いもの魅力をもっと広めたい。この活動を知ってもらうことも大切だ」と語り、来年度以降も活動を継続する意欲を見せています。

今後も、地域の皆さまに愛される活動として頑張っていきたいと思います。北高OB・OGの皆さまにおかれましても、温かく見守り、応援していただけましたら幸いです。

